

市川廣治、内海精一、太田代義方、五名現業員、代表者トシテ一括シテ乙ト稱シ此當至者間ニ在記約
定ニ依ル本件契約ヲ締結シタリ

第一條 甲ハ其所有ニ屬スル本証書添付目録記載ノ物件全部ヲ乙ニ引渡シ、債渡之が使用セシムル事ヲ約シ、乙ハ甲ノ營業部類ニ屬スル事業ヲ営ム目的ニテ之ヲ借受ケタリ

第二條 乙ハ前條使用ノ對價トシテ乙ノ經營ニ依ル事業ヨリ得タル總収入額ノ一割ヲ甲ニ對シ、毎月其月分ヲ計算シ翌月七日限、其支拂ヲ爲スヘキコトヲ約シ、タリ前項乙ノ總収入額ハ毎月二十日限リ、明細書ヲ作成シ、乙ヨリ甲ニ提示スヘキモノトス、又甲ト何時ニテモ乙ノ營業上書類帳簿類、檢閲ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

第三條 本契約ニ因ル使用期間ハ大正十四年五月二十一日ヨリ、同年七月三十一日迄トシ、該期間限り

到來ト同時ニ其當時ノ現狀ノ儘ニテ乙ノ使用ニ係ル物件全部ヲ無條件ニテ甲ニ返還スルコトヲ要ス

第四條 乙ニ於テ、造字及其附屬品ヲ購入セシタル造字及其附屬品ハ購入原價ニ對スル二分、一ヲ甲ヨリ乙ニ支拂フベシ、キハ至急ヲ要スル場合ヲ除キ、其都度甲ノ指定シタル人ノ調査ヲ受クル事ヲ要ス、但シ其指定セラレタル人ハ當該事項以外ノ事ニ關共セサル事ヲ要ス

第五條 第一條記載ノ甲所有ニ屬スル現在ノ造字ハ乙ニ於テ、鑄込等ヲ爲サシムルコト又全上甲所有ノ造字及器具類ヲ轉貸シ、若クハ他ヨリ借入レタルトキハ、其都度明細書ヲ作成シ、乙ヨリ甲ニ其報告ヲ爲スヘキ事ヲ要ス

第六條 本契約ハ期限終了又ハ契約解除ノ際ハ職工ノ